



UMEX 夢っくす ニュース

かわらばん 夏号

春のガーデンパーティー

武宮 千賀子



4月27日(土)に開催されたガーデンパーティーに参加しました。今回は祖母と兄夫婦と甥っ子、姪っ子を連れての参加でした。当日は本当に気持ちのいい天気、夢っくすの皆さん



が用意してくれた蕎麦やうどん、そして天ぷらが本当に美味しかったです。学生さんとも蕎麦や地域の山菜のことをきっかけに会話もできて、とても楽しかったです。祖母は度々夢っくすのイベントに参加していて、学生さんも夢っくすの皆さんも、おばあちゃんに優しく、たくさん話しかけてくれるので、今回も本当に楽しそうにしていました。小学2年生の甥っ子と、保育園年長の姪っ子は初めて出会う外国の方に緊張と恥ずかしさで固まってしまいましたが、帰ってから友達がいるの?英語がしゃべれるの?と質問せめて興味深々のような様子でした。この地域に住んでいて、90歳のおばあちゃんも子供たちも、こんなに簡単に国際交流ができるってすごいなと思います!また、次のイベントも楽しみにしています。ありがとうございました。

お花見ツアー

勝又 尚子



4月なのに本格的な雪が降ったり急に暖かくなったり不安定な天気が続く4月6日(土)にお花見ツアーに参加しました。

高田公園の桜は「日本三大夜桜」の一つにも数えられ、また「さくら名所百選の地」(平成2年)にも選ばれており、学生達にも人気のツアーで今回もバスに乗り切れなかった方たちが大勢電車や車で来ていました。

当日は暖かく、バスで雪の残る十日町を抜け上越に向かいました。トイレ休憩の際迷子になったり、集合時間が守れないなどのプチトラブルが発生しがちですが、そんなトラブルもな

くツアーは順調でした。目的地が近付いてくると道中桜が咲いていて、車窓を楽しみながらの高田公園に無事到着です。暗くなる前に集合写真を撮り現地の方から英語の地図をもらいざ観桜会へ、昔ながらのお化け屋敷や沢山の屋台に童心に返って楽しみながらライトアップを待ちながら、自然光の桜を鑑賞しました。日が暮れてライトアップが始まると幻想的な世界が広がります。枝垂れ桜が満開ではなかったけれどインスタ映えは一押しです。テレビでインスタ映えする桜の撮り方は桜の前に立つのではなく、花が咲いている枝の間に立ち焦点を人物に合わせて撮影すると立体感のある写真が撮れると紹介していたので実施してみたのですが、残念ながら私のテクニックはそれ以前の問題でした。園内で、猿廻しも出ておりひと時かわいいお猿さんの演技に見入ってました。ライトアップされた桜が余りに見事で、夢のような1日を過ごしました。

The Journey サポート

櫻井 徳治



6月8日(土)に国際大学のMLICホールにて学生による「The Journey」が開催されました。このイベントは昨年開催された「TED×IUJ」と同じような催しで、学生があるテーマに関しての講演を行い、その内容をインターネットで世界に発信します。

今回は夢つくすに日本文化のできる方を紹介して欲しいと依頼があり、高橋さんが学生に南魚沼市内の五十沢地区にある津軽三味線のグループ(紫音会)を紹介し、私は打合せや下見などのサポートを行いました。

最初の休憩時に三味線の演奏を行い、袴スタイルの3名が演奏する力強い音がホール内に響きわたり、大いに喝采を受けました。また、同じ五十沢地区で生け花を教えている方がホール内に花を活けて日本文化を紹介していました。休憩時間には、三味線の音を出して感心したり、同じような楽器が私の国にもあるなど交流していました。

三味線の演奏や生け花などの日本文化の紹介をする良い機会になりました。演奏者を始め打合せや準備など大変お疲れ様でした。

着付け

高橋 和子

今年は雪が少なく、桜の開花も早いのかと期待していましたが、4月3日になごり雪が降り、国際大学の桜が咲き始めたのは20日過ぎとなりました。開花とともに多くの学生さんから続々と着付けの予約が入り、5月連休過ぎまで毎日のように着付けを行いました。

今年は過去最高の151人の学生とその家族の方々(子供含む)に着付けを行いました。毎年学生さん達は桜の木の下での着付けをとても楽しみにしています。しかしながら、だいたい1日に着付けをできる人数は25人ぐらいが限度。また、皆仕事をしながらのボランティアですので、桜の開花のピークに着付けをきるのは人数が限られてしまいます。毎年、どのようにスケジュールを組めば効率的に着付けができるか、試行錯誤を重ねています。また、着付けを行うためには、予約の受付、学生への連絡、着付けができる会員の確保、脱いだ後の着物や肌着の洗濯などなど、やることが山積みです。それを限られた会員の努力で毎年行われています。一回の着付けで、だいたい5~6人の人数が必要となります。もし来年は着付けに参加したいと思われる方がいらっしゃいましたら、桜の時期に是非ご連絡ください。

来年以降もこの着付け行事を続けていけるよう、より多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。



お知らせ (サロン部)



いつも夢つくすの活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。

サロン部では、現在、火曜日、土曜日の午後1時~3時まで国際大学の学生寮(SD3)の1階にあります夢つくすサロンにおいて日本語クラスを行っておりますが、6月22日(土)の修了式が終わると、殆どの学生さんは大学を離れます。そこで、サロン部でも7月6日(土)を

最後に9月までサロンを閉めさせていただきます。学生さんから要望がある場合は活動を継続するかもしれませんが、新しい学生さんがいらっしゃるまでの夏の間鋭気を養っておいてください。サロンを再開する時期は、メールにてお知らせ致します。(高橋 和子)

★★会員紹介一★★

- ①興味のある言語 ②趣味や特技
- ③夢つくすでやってみたいこと

会員No.512 岡村 沙代里 (おかむら さより)

- ① タイ語：初級
- ② 書道(娘)、テニス(母)
- ③ 子供がいるので、ママさんへのアドバイスなどサポートできればと思います。

キッズイベント（ありがとうパーティー）

篠田 幸枝

趣味のお花のイベントを夢っくすで主催したいと考えていたことが、事の始まりでした。

今回は有難くも角屋さんが主催されているキッズパーティー（5月26日【日】開催）で一緒にハーバリウム（下の写真）を開催させてもらえることになりまして、当日は前々からキッズパーティーに参加されている学生さんや子供たちがたくさん集まってくれました。

材料を用意しているときから、子供たちは興味津々で「これなに？」とのぞき込んできてくれました。

流暢な日本語を話す子供たちに、ハーバリウムのつくり方を英語で説明しようと準備してきた私は、肩透かしをくらったよ



うな、ホッとしたような。それでも簡単な説明をさせてもらいましたが、私の説明は必要がないほどの速さで、みなさん思いのままに瓶の中に花を詰める、詰める。その迷いのなさがすばらしいほどで、あっという間にひとりが「できたよー」と小瓶を持ってきたと思ったら、次から次へとやってきて、私は出来上がった瓶のなかにオイルを入れる作業にひたすら追われることになりました。「ねー、もう1個作っていい?」「リボンはもっと短いほうがいいの」。子供たちの素直で積極的なパワーに圧倒されていると、大人の方々も出来上がったよ

うです。みなさんが制作している様子を眺める間もなく、ズラッと素敵な瓶がいくつも出来上がりました。子供ならではの大胆な発想があるかと思えば、留学生たちの作った瓶は日本にはない色使いで、全部の瓶を一緒に並べたら、とてもきれいでした。いくつも作った子供たちは、先生や好きな子にプレゼントするのだそう。ゆっくり見てまわる暇はなかったけれど、楽しんでいただけたようで何よりでした。キッズパーティーでは、ゲームやランチ等、いつも楽しいイベントに参加させてもらえばかりでしたが、今回は皆さんの協力の下で貴重な経験をさせていただきました。

主催をするのは想像以上に大変でしたが、参加された方が笑顔で帰って頂けたので、良かったと思いました。また機会がありましたら、ハーバリウムやプリザーブドフラワー、リース等のイベントを企画してみたいと思います。



修了式に参加して

田中 美智子

6月22日（土）に小出郷文化会館で国際大学の修了式が行われ、私もチューターをしていた学生さんが卒業するので行ってきました。この一年、日本語教室や色々な行事で出会えた学生さんやその家族と最後にもう一度会うことが出

来て、楽しかった出来事が思い出されました。

朝は少し強い雨が降って心配しましたが、式の前後は幸い止んで、皆さん思い思いに集まって写真を撮っていました。グレッチェンさん曰く“だって世界中の神様にお願いしていますからね！”。正に世界中の

国々から集まったようなカラフルな衣装と卒業生のガウンの組み合わせが特別な日を演出してくれます。

今年のゲストスピーカーは27年前の卒業生ということですが、彼女の言を待つまでもなく、“浦佐の厳しい冬を2回も生き延びて”卒業の日を迎えた皆さんが大きく羽ばたいて行かれますように！

★夢っくす総会のご案内★

以下の日程で開催しますので、出席下さいますようお願いいたします。総会終了後、交流会を開きます。

日 付：7月27日（土）
時 間：17：00～18：00
集 合：えずみや（浦佐駅西口前）
参加費：1,000円（交流会参加者）

出欠の返事は同封の葉書でお願いします。皆様のご参加をお待ち致しております。

問合せ：櫻井徳治 025-772-4589

インターナショナル・フェスティバル

小島 由美

桜色に染められていた国際大学を次に訪れた景色は、華やかで心躍るものとなりました。日本ではなかなか出会えない国際色豊かな風物詩、インターナショナル・フェスティバルは、例年より早い4月27日(土)の開催でした。少し冷たくも爽やかな風が、誇り高き民族衣装の数々を撫でていました。

メイン会場の体育館への道沿いに、大使館のような各国のブースがひしめき合い、自慢の料理と友好的な笑顔で私たちを迎え入れてくれました。ここでは、ベトナムの「フォー」やタイの「トムヤムクン」など、日本でも親しまれている料理を、本場の旨味で堪能することができました。特に印象的だったのは、モンゴルの「ホーショール」です。羊や牛などの挽き肉を玉葱やニンニク



と合わせ、小麦粉の生地で包み、木の葉の形にして揚げたものです。これは、揚げ餃子ともピロシキとも違い、また肉まんを揚げてみても違うものでしょう。皮はモチモチとサクサクの中間で、具は肉汁たっぷりの素材を生かした美味しさです。モンゴルの友だちによると「これは家庭でも外食でも日常的に好まれる、モンゴルを代表する料理です。モンゴルは寒いので、これを両手で挟んで温まりながら、健康を祈って食べるのがいいんです」とのことです。このように、料理を味わうだけにとどまらず、文化の背景まで教えてもらえるところにも、このフェスティバルの「醍醐味」があります。一方、ステージで繰り広げられるパフォーマンスでは、「One Africa」を掲げたアフリカチームのダンスが、観衆の目と心を奪う圧巻の迫力で、会場中を熱気で包み込みました。生来の才能がほとばしるリズム感と躍動感が、私には眩しく、憧れの気持ちを抱かせてくれました。皆さんから放たれる煌めきは、瞬間的にアフリカの情熱を体感できるような、そんなパワーに満ち溢れていました。また、今回は夢っくすの紹介コーナーがあり、学生に好評の着物を纏った会長の高橋和子さんが、満を持して登壇しました。夢っくすへの参加方法や活動報告など、関心を呼ぶ有意義な内容でした。今後益々の発展を願わずにはいませんでした。

このフェスティバルでは、僅か半日で色々な国の人や文化に触れられ、貴重で非日常の体験が目白押しです。このようなイベントや夢っくすの活動を通して、外国の方々のご縁ができ、親しい友人を持てることに幸せを感じています。今年も豊かな新緑の下、新しい出逢いがあり、また社会人として活躍する卒業生との再会にも恵まれました。皆さんと

の繋がりは光栄です。私はこれからも、ずっと誇りに思うに違いありません。

UMEX うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



新会員のご紹介

No.512 岡村 沙代里 (十日町市)

★よろしくお祈りします★

〒949-6609

新潟県南魚沼市八幡35-7
うおぬま国際交流協会(夢っくす)事務局

夢っくすサロン(国際大学第3学生寮1階)
TEL/FAX: 025-779-1520
E-Mail: office@umex.ne.jp
URL: http://www.umex.ne.jp/

担当者連絡先

高橋(会長、担当: サロン、多言語など): 070-5083-3123
櫻井(副会長、担当: イベントなど): 080-6608-4830
森山(担当: 広報): 090-6945-9402
角屋(担当: キッズ): 090-8773-0329

今回も多くの記事が寄せられて、賑やかな紙面となりました。国際大学では既に修了式も終わり、キャンパスは今は学生も疎らで静かです。ですが、この静けさはほんの一時的で、かわらばんが皆様に届く頃には夏期の英語集中講座が始まり、キャンパスは賑やかになっていることでしょう。皆様の夏の思い出をお待ち致しております。(toshi)

入会方法

入会は随時受け付けております。申込書は夢っくすのホームページから入手できます。また、夢っくすサロンでも配布しております(来られる際には事前にご連絡ください)。会費は以下の郵便口座にお振り込み頂くか、または夢っくすサロンに直接お持ちください。

年会費

個人会員: 3,000円

家族会員: 1,500円

団体会員: 1口 10,000円から任意の口数

郵便口座

口座番号: 00550-7-74672

口座名称: うおぬま国際交流協会

